



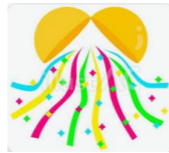
潮流

題字：末兼南子さん イラスト：大津美子さん

大津島データ 134世帯
人口 176人 男 74人 女 102人
高齢化率 79.0%
(令和6年5月31日現在)



島民アンケートをもとに令和3年10月に基本設計が行われてから2年半あまり、およそ1年の工事期間を経て、令和6年5月17日から新たな刈尾待合所が利用可能となりました。車椅子用スロープ、エアコン、トイレは3つ(男性、女性、ウォッシュレット付き多目的)完備。多目的トイレ



刈尾待合所 新設オープン

文川大津島支所
中村 卓広



利用時は、建物外側の赤いランプが点灯します。靴のまま待機する場所と靴を脱いで待機するコーナーを含めて、床面積40㎡程度の広さとなります。

オープンしてすぐのタイミングで、園外保育による園児数十名ほか市内幼稚園関係者が初めての団体客となりました。真新しく居心地の良い待合所は、刈尾海岸での貝殻拾いととも素敵な思い出の場所として記憶にとどまることと思われます。



好評のうちに、あとかたもなく解かれた仮設待合所は懐かしい思い出に変わりました。特に、数か月に及んだ支所トイレの工事期間、仮設トイレには随分とお世話になりました。新しく生まれ変わった刈尾待合所、これからもお気軽におくつろぎください。

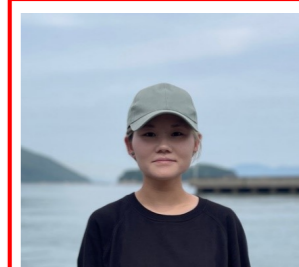


磊の島メンバー紹介



昨年より刈尾の綱取り(木曜)、島食堂ひなた、大津島ふれあいセンターに週1日ずつ勤務しています！島の自然や犬猫たちに癒されながら、この1年楽しく過ごしていました。これからもよろしくお願いします。

みうら かすみ
三浦 和紗



去年の4月から磊の島に入社し、主に刈尾の綱取りとして働いています。お話をいただいた時は聞いたこともない仕事に不安もありましたがこの1年楽しく過ごさせていただきました。これからもよろしくお願いいたします。

ぜんしょう りほ
善生 里歩

『しまさぽ』に新しいメンバー



島のサポーター「しまさぽ」で、週1日勤務します、石田です。縁あって、主人の生まれ育った大津島で働くことになり、嬉しく楽しみに思っています。よろしくお願いします。

いしだ まゆみ
石田 真由美



はじめまして！櫻井麻衣と申します。ご縁あって神奈川県から刈尾に移住しました。カメラマンの仕事しながら、綱取りや磊ノ島のお手伝いもやらせていただきます。

海に落ちないように気をつけます！

さくらい まい
櫻井 麻衣

ゆうた 佑太くん 誕生



文川小池 良太・佑香里

令和6年5月24日生まれ

3055g



皆さんこんにちは。一昨年に長男の陽太が産まれこの度ももう一人我が家に子どもが産まれました。名前は佑太と名付けさせてもらいました。佑という漢字は助けるという意味があり、佑太には「人を助けてあげられるような暖かく優しい人になってほしい」という意味を込めてます。いつも皆さんには長男である陽太を沢山可愛がっていただいています。が次男の佑太にも皆さんの愛情を頂きますと幸いです。これで大津島には5人の子どもが居てくれることになり、幼馴染のみんなと遊ぶ姿を想像すると今後がたのしみで仕方ありません。

りません。佑太は陽太と比べて静かにはほんとしています。産まれて数日での文章を書かせてもらっているのが皆さんが読む頃には豹変して元氣すぎる姿になっていくかもしれません。少しだけ大人しい弟になってくれそうです。みなさんのおかげで妻の佑香里も元氣で家族みんながハッピーな日が続いています。ありがとうございます。

佑太ママ(佑香里)

まつまいも植えたよ！

文川 佐々木 照彦

6月1日、今年も例年通りまつまいもを植えました。同日総会も予定されていたので22人の参加者で行いました。事前に肥料を入れて畑を鋤く作業をメンバー2人にやっておいていただいたお陰で、手際よく植えることが出来ました。今回が初参加という方もいましたが、楽しめたのではないかと思います。

総会では6年度の計画・予算を承認いただき、その他の話題は多岐にわたりました。(収穫した芋はどうする？盆踊りは？敬老会は？桜まつりは？)総会の中では話が終わりそうにないので、懇親会で皆さんの思いを聞くことに。



島にいたる若潮の会のメンバーと島外に住んでいる若潮の会のメンバーがより情報を共有し、コミュニケーションや自治会とより連携を取りながらやっていくということだろうと思います。そのなかで若潮の会の色を出していく例年通りでない今年度、何から手を付けていくか。楽しみでもあり……

大津島との縁



早いもので回天記念館に配属されてから3年目となりました。平成30年度の大津島支所から2度目の大津島勤務です。

以前は大津島は縁も所縁もないところとと思っていましたが、回天記念館で働き始めてから、回天の戦没者(和田稔少尉)の記念碑が平成23年に実家のある上関町白井田に作られていることを知りました。それまで和田稔少尉のことを聞いたことはなく、実家に帰るたびに鳥居付近の広場に何か変なものを作ってあるなと思いながら、近寄って見たことはありませんでした。

和田稔少尉は昭和20年5月伊363潜水艦で出撃しましたが、発進の機会なく帰投。再出撃のために光基地で訓練を行っていましたが、7月25日訓練中の事故により行方が分からなくなり23才で殉職しました。

戦後、搭乗していた回天が昭和20年9月の枕崎台風により白井田の岩礁に漂着し、遺体は浜辺で荼毘にふされました。映画『出口のない海』で、主人公が訓練中行方不明となり戦後海岸に打ち上げられた回天から遺体が発見されたエピソードは、和田稔少尉がモデルではないかと思われれます。

和田稔少尉は生前たくさん日記を残していましたが、「私は今、私の青春のまひる前を、私の国に捧げる。」という一節は回天記念館の柱の二つに記されています。

私も回天を通して大津島と多少の縁があったようです。文川 回天記念館 佐伯 良光

知っちゃんもがな「まっへん」

夜釣りをする。釣れようが釣れまいが竿を出す。釣れば竿先ばかり見て、他所を見るゆとりは無いが、喰いが渋い時は海を見て山を見て空を見て、日頃柄にも無いが「今日は星が綺麗」などと話したりする。

ある夜の事、ふと見ると学校とふれあいセンターの辺りが、真っ暗に見える。あれっ、今日は、月も無いからひどく暗く見えるなあと思いつつ、竿を上げ下げしながら、チラチラ何度もそのあたりを見るが、本当に真っ暗に見える。いくら暗いと言っても、体育館の白い壁や、ふれあいセンターの明かり取りの窓に船の灯りが反射するとかして、真っ暗なんて事は無いけど、改めてよく見ると学校とふれあいセンターの辺りが、まるで黒で覆われたみたいだ。後ろの山よりも遙かに暗い。一緒に行っていた息子に「なんか学校の辺が暗くない」と聞いたが、チラリと見て「本当じゃね」と言ったまま興味はなななとつに竿先に目を移した。やっぱり暗いのは暗いのだと思いつつ、ふと思いだした事がある。

いつだったか、夜、娘の車で息子を送った時の事。息子のアパートは、ある病院



の近くなので、夜はその庭先に車を停めて、息子は荷物を取って帰る。その日もいつものように、車を停めている時、「あれ、どこって、こんなに暗かったっけ」と思ったけど、息子の荷物を出す為に外に出ると、建物の所に看護師さんが立っている。薄いピンクの服にカーディガン。「あっ、看護師さんがいるよ。早く取って帰らんと」と言ってる。荷物を渡してふと見ると、看護師さんがすぐ後ろ、ほんの三メートルくらいの所まで、来ていて少し怖い顔をしているような。慌てて息子を追い返して、車に乗って帰った。で、落ち着いて考えた時、なんか違和感があるなあと思いついた。

その後、何度も息子を送って、あの病院の所に行ったが、あんなに暗かった事はない。そもそも病院の周りには街灯が何本もあるし、病院の中から非常口の緑の明かりも漏れている。じゃ、あの日のあの暗さは何？とは言え、息子も娘も大した違和感も記憶にないらしいので、私の気のせいかも知れない。うん、きっとそうだ。気のせい気のせい。

文川 松本 千恵子

徳山見聞録

45

船名「丸」がひびく歴史

文川 大津島巡航 三崎 英和

当社では現在、新船建造を目指してその準備作業を進めています。予定どおり新しい船ができたときには、どんな名前やその決め方がふさわしいのか、今から悩んでいます。

ところで、今の2隻の所有船舶には船名の最後に「丸」がついていません。今から50年以上前、私が中学生のころによく乗っていた当社の船の名前は、確か「第6大津島丸」だったと記憶しています。

従って、当時は、新船が建造される都度、最初の番号が更新されていたと推測されますが、今でも徳山港を見渡せば、「第1丸」が付く船舶はたくさん見られます。

そのうち、「丸」が付いている理由を調べてみたら、明治時代に作られた「船舶法取扱手続」という訓令の第1条に「船舶ノ名称ニハ成ルベク其ノ末尾ニ丸ノ字ヲ附セシムベシ」(現在、同条は削除)と規定さ

れていたためと分かりました。しかし、そもそもなぜ「丸」でなくてはいけないのかについては、よく分かっていないようです。

この「丸」というと、「牛若丸」や「森蘭丸」に代表されるように男性を想像しますが、西欧では「クイーンエリザベス」や「サンタ・マリア」という船名に象徴されるように、船は女性名詞です(ただし、今は少し変わってきているとか……)。

その理由は、頻繁にペンを塗り替える様子を化粧に例えたからなど、諸説あるようですが、文化が違つと名前と名字が逆になるように、船にも同様なことが起きるのですね。



イラスト 三崎さん